

JA ようていの取り組み



地球にやさしい農業を目指して

限りある資源をむだにしないように自然のものは自然のために使う環境にやさしい農業を行っています。

REDUCE
減らす

REUSE
再利用

RECYCLE
再生利用

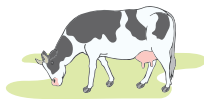
牛の糞やいらなくなった牧草・木材

堆肥にして地域の農家さんへ。堆肥は土に元気を与えてくれて、おいしい作物が育ちます。



商品として売ることができない、見た目が良くない作物

おいしく食べられるので牛のエサに!

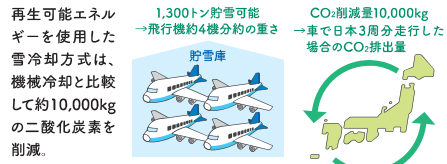


ポテトチップスや野菜ジュースなどの加工品に!



冬にたくさん降った雪

お米の保存に使用。雪利用米穀貯蔵庫があります。



JA ようていの食育活動

自分で植えた作物を、自分で収穫して、おいしく食べる。その一連の作業を体験することで農業や食の大切さを感じてもらいたいと考え、地域の幼稚園児・小学生を対象に毎年、農業体験活動を行っています。

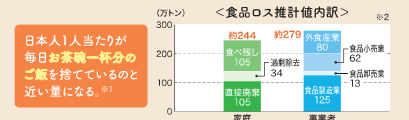


みんなで協力して地球にやさしい行動を心がけましょう。



COLUMN 食品ロスをゼロへ

毎日の食事、残さず食べていますか? 「食品ロス=食べられるのに捨てられてしまっている食べ物」のことです。日本では、売れ残りや食べ残しなど食べられるはずの食べ物が1年間に約523万トン^{※1}も捨てられています。捨てられた食べ物のほとんどは、燃やして処理されていて、燃やす食べ物が増えるほど二酸化炭素がたくさん発生するので、地球温暖化をさらに進める原因となっているのです。



地球温暖化が進むことで起きる問題とは?



※1 出典:農林水産省ホームページ
https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/soyoku_loss/101227_4.html を編集して作成
※2 出典:環境省ホームページ https://www.env.go.jp/recycle/foodloss/general.html を編集して作成

